

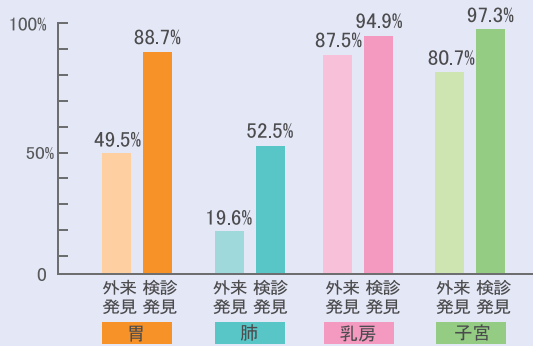
大阪府がん登録事業のご案内

大切な人のためにも定期的ながん検診を がん検診のススメ

がん検診で
助かる命が
あります

がん検診で発見されたがんは、症状が出てから病院の外来で発見される方よりも生存率が高まります。その平均は、外来発見が「57.8%」に対して、検診発見は「86.5%」にもなります。

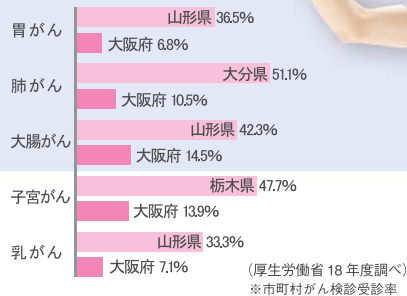
受診の動機別に見た3年相対生存率(%)



出典：(財)がん研究振興財団「やさしいがんの知識」より

が重要です。

知っていますか？
大阪人の
がん検診



大阪府は他府県に比べてがん検診の受診率が低いのが現状。診断と治療の進歩で、早期発見、早期治療が可能になっています。将来、元気で長生きするためにも、自ら進んで検診を受けましょう。



●がん登録事業って何？

大阪府内の医療機関から報告されるがん診断情報から、がん患者数、治療状況、5年生存率などの成績を集計、解析します。大阪府が、大阪府医師会、府立成人病センターの協力のもとに、1962年より実施しています。がん登録は、大阪府におけるがん対策の推進とがん医療の向上に重要な役割を担っています。

●がん登録ってなぜ必要？

大阪府では毎年3万人以上の方ががんにかかっています。がん対策を講じるためには、その基礎資料となるがんの罹患状況等の把握が必要であり、がん登録は、その中心的役割を果たしています。

(1)大阪府におけるがんの実態

- どのようながんにかかる人が多いか？
- どのようながんにかかる人が増えているのか？
- 男女でかかるがんの違いはあるのか？

(2)がんの治療成績

- 診断から5年後の生存率は？
- がんの拡がりど生存率の関連は？

このようながん登録はがん対策の企画と評価にも必要で、「がん対策の羅針盤」といわれています。

●がん登録からなにがわかるの？

がん登録からわかる大阪府のがんの現状から必要ながん対策が明らかになります。

- (1)大阪府で多い肺がん、増加している肺がん、大腸がん、乳がん。これらへの対策として、喫煙率の減少と効果的ながん検診の推進が重要です。
- (2)他府県に比べて肝がんにかかる人が多い状況にあります。肝がんの5年生存率は年々向上しているものの、他疾患と比べると低いのが現状です。肝がん予防のために肝炎ウイルス対策が重要です。

これらの対策をはじめ、がん対策を総合的に推進することにより、大阪府がん対策推進計画の全体目標「がんによる死亡者の20%減少[※]」を目指します。

※75歳未満の年齢調整死亡率

●がん登録における個人情報の取扱は？

■個人情報保護法との関係では…

地域がん登録における診療情報の提供は、個人情報保護法等における「利用目的による制限」および「第三者提供の制限」の本人同意原則の適用除外の事例に該当します。(厚生労働省健康局長通知、2004年1月)。厚生労働省の「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」(2004年12月)では、地域がん登録事業への情報提供は、公衆衛生の向上のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるときに該当し、「第三者提供の例外」とされています。

■安全対策は…

個人情報の漏えい、紛失等による個人の権利利益の侵害を防止するため、「安全対策マニュアル」に基づき、①がん登録室への入室者の制限、②個人情報にアクセス可能な職員の限定、③個人情報に関する書類等の施錠管理、④個人情報を保存するコンピュータの外部接続への禁止などにより、厳重に管理されています。


あなたの命は
誰かのための命でもあります



編集 社団法人 大阪府医師会

〒543-8935 大阪府天王寺区上本町2丁目1番22号

TEL 06-6763-7012 <http://www.osaka.med.or.jp>

 大阪府医師会

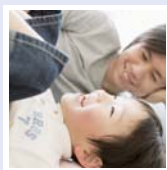
もっと知って
ください
がん検診のこと

がん検診は、
無料で受けたり、
検診費用を助成して
もらえる場合も
あります。

町のかかりつけの
お医者さんでも
がん検診を
受けられます。

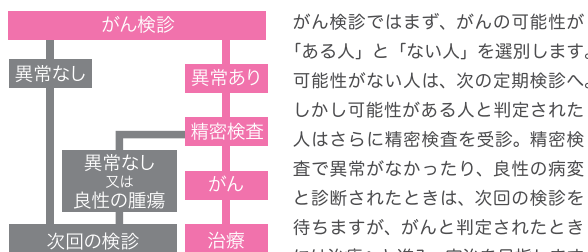
がんは 早期発見・早期治療が、

国内でがんを治した人は100万人以上。
あなた自身や大切な人のためにも、
がんの定期検診による早期発見に努めましょう。



■正しく知って、がん検診を受けましょう

「がん」が恐ろしい病気であることは、国内のがんによる死亡者数が年間32万人を超え、死亡原因の第一位(全死因の30%)を占めていることが物語っています。



がん検診ではまず、がんの可能性が「ある人」と「ない人」を選別します。可能性がない人は、次の定期検診へ。しかし可能性のある人と判定された人はさらに精密検査を受診。精密検査で異常がなかったり、良性の病変と診断されたときは、次回の検診を待ちますが、がんと判定されたときには治療へと進み、完治を目指します。1年に1回など定期的に検診を受けましょう。(子宮がん、乳がんは2年に1回の受診が勧められています。)

■年代別オススメがん検診

20代	子宮がん検診	30代	子宮がん検診
若いといってもがんと無縁ではありません。子宮がんの罹患率が増加傾向にある20代。子宮がん検診の対象年齢は、20歳以上を受診可能としています。		仕事や家庭の雑事に追われることが増える30代。ストレスが多い生活は、がんのリスクも高まります。検診をおろそかにしないようにしましょう。	
40代	胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん検診	50代	すべてのがん検診
がんによる死亡率が上昇し始める40代。体力も衰え始めます。運動不足による大腸がんのリスクが高まるのもこの世代。定期的に検診を受けましょう。		がん罹患率は、男女ともに50代から加速します。症状が出てからでは手遅れになることも。過信は禁物。定期的に検診を受ける必要があります。	

がん予防のすすめ6カ条

私たちが、まったくがんにかからないようにすることは無理としても、少しでもがんの原因になるようなことを遠ざけることはできるはず。この6カ条をもとに今日からさっそく生活改善を始めてみましょう。

- 第1条 禁煙と防煙 がん予防への第一歩
- 第2条 迷わず受けよう 胃・肺・大腸・乳・子宮がん検診
- 第3条 肝がん予防 まずは肝炎ウイルスチェック
- 第4条 お酒飲むなら男性1日1合、女性半合まで
- 第5条 適度な運動そして適正体重の維持
- 第6条 食事は塩分少なく野菜多く



自分は大丈夫!って思ってる人も
心あたりのある人もない人も
まずは「がん検診」へ行ってみてください。

お近くの医療センターや診療所、または大阪府医師会のホームページをご覧ください。

あなたの命を守る Q&A

Q1 運動不足が影響するといわれているがんは何?

A1 運動不足は、大腸がんになりやすいと言われています。毎日、ウォーキングなどの適度な運動を心がけましょう。

Q2 たばこに含まれる化学物質のうち有害物質は何種類くらい?

A2 たばこの煙に含まれる4000種類以上の化学物質のうち、200種類以上が有害物質、約60種類が発がん性物質と言われています。

Q3 塩分の取り過ぎで、がんのリスクが高まるってホント?

A3 塩分の取り過ぎは、胃がん発症の可能性を高めると言われています。生活習慣病とも関係するので注意が必要です。

Q4 マンモグラフィという乳がん検査の放射線は、体に影響しないの?

A4 マンモグラフィはレントゲン検査ですので、軽微の放射線被曝を受けますが、体への影響はほとんどないと言われています。